



2020年3月17日

**日産自動車とフォーアールエナジー、日本電動化アクション“ブルー・スイッチ”が  
「第6回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2020」の最優秀賞を受賞**

～ 自動車メーカーとして、唯一の受賞 ～

～電気自動車を活用した災害連携協定、31自治体・企業と締結～

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田 誠、以下、日産)とフォーアールエナジー(本社:神奈川県横浜市西区、社長:牧野 英治、以下、4R)は、17日、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会(※1)主催の「第6回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2020」(※2)において、日本電動化アクション“ブルー・スイッチ”での取り組みが、企業・産業部門で「最優秀賞」を受賞したと発表しました。



ジャパン・レジリエンス・アワード 2020



日本電動化アクション“ブルー・スイッチ”

日産は、2018年5月より、電気自動車(以下EV)を活用し日本が抱える地球温暖化や災害対策等の課題を解決するための活動、日本電動化アクション“ブルー・スイッチ”に取り組んでいます。これは、防災、エネルギーマネジメント、温暖化対策、観光、過疎化など様々な地域課題を、全国の自治体や企業と協力し、EVを活用して解決に向け取り組む活動です。特に、過去2年間、自然災害による停電件数は800万戸以上にも上っており、EV「日産リーフ」を非常用電源として活用するニーズは、年々高まっています。

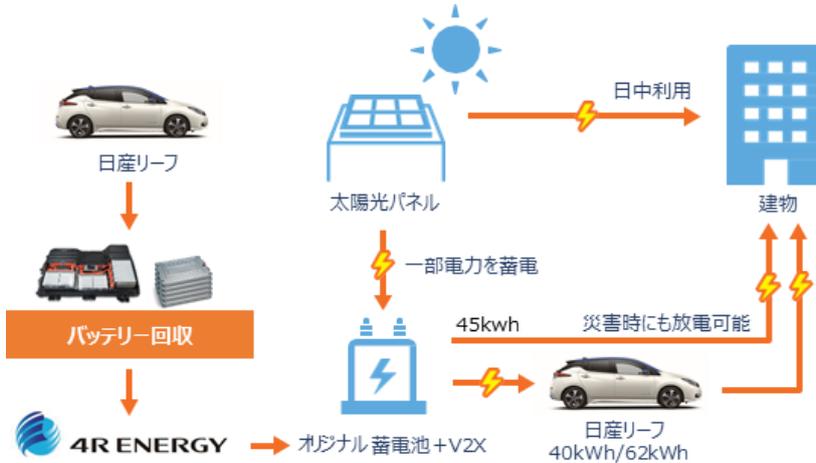
日産は、ブルー・スイッチの活動を通して、全国の自治体や企業へ「EVを活用した災害対策」について提案し、その結果、自助・共助・公助の向上による国土強靱化を図ることを目的に、これまで多くの自治体や企業と災害連携協定を締結して参りました。本年3月末までには、累計31の協定を締結する予定です。協定は、「自治体所有のEV 公用車、日産販売会社のEV 試乗車、日産のEV カーシェア車両等を活用し、災害による停電発生時に避難所、福祉施設等に電力を供給する」、というものです。



千葉の長期停電時の「日産リーフ」からの給電の様子

また 4R は、レジリエンス性を高めることを目的に、「日産リーフ」の 40kWh 使用済電池を再利用した定置型蓄電池を開発しました。更に、EV に蓄えた電気も活用できる V2X (Vehicle-to-everything) 機能付き新商品を開発し、活動を進化させています。

再利用の定置型蓄電池は、昨年 9 月より、神奈川県内のセブン - イレブン 10 店舗で、再生エネルギーによる電力調達の実証実験を行っています。また V2X については、昨年 12 月に EV の電力も活用できる V2X 機能付新モデルを株式会社 アイケイエスと共同開発しており、2020 年度中には販売を開始する予定です。



V2X イメージ図

今回の受賞は、日産の自治体・企業と連携した EV 活用による災害支援の推進活動と、4R の V2X 機能付き定置型蓄電池の開発、などの活動が高く評価されたものです。尚、日産は、「第 6 回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞)2020」において、唯一の自動車メーカーでの受賞となります。

日産は、今後も、EV の普及を通じた防災、エネルギーマネジメント、温暖化対策、観光、過疎化など様々な地域課題の解決に向けて、自治体企業との連携をより一層強化していきます。

さらに、『ブルー・スイッチ』活動の推進に加え、EV のグローバルリーダーとして EV の普及はもちろん、EV がもたらす豊かな生活の実現、そして EV が成し得る社会変革のために、EV の生み出す新たな価値を世界に発信し続け、よりよい社会づくりへの貢献を目指して参ります。

日産と 4R は、今後も、電気自動車を活用したエネルギーマネジメントの先進的なモデルケースを広く普及させ、日本電動化アクション“ブルー・スイッチ”を推進し、多くのパートナーと協力しながら、地域課題の解決に向けて連携を強化してまいります。

以上

※1 国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえて、「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民が連携して、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立された協議会

※2 次世代に向けたレジリエンス社会を構築するために全国各地で展開されている“強靱化(レジリエンス)”に関する先進的な活動を発掘、評価し、表彰する制度。

<関連 URL>

#日産リーフ【企業】全国に広がる、日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」! <https://youtu.be/L9Lvh4b2n1o>

<添付資料> ブルー・スイッチ 電気自動車を活用した災害連携協定締結一覧

全案件		※3月17日現在
件数	協定日	協定先
1	2018年9月6日	練馬区
2	2018年11月20日	横須賀市
3	2019年2月27日	セコマ
4	2019年3月16日	ヒグマ(SB)
5	2019年4月26日	飛騨市
6	2019年5月29日	伊勢市
7	2019年7月22日	熊本市
8	2019年8月19日	羽村市
9	2019年8月27日	三重県
10	2019年8月28日	彦根市
11	2019年9月12日	札幌市
12	2019年9月13日	アキュラホーム
13	2019年10月10日	厚木市
14	2019年10月25日	大分市
15	2019年11月22日	鶴岡市
16	2019年11月25日	神戸市
17	2019年12月1日	狛江市
18	2019年12月25日	さいたま市
19	2019年12月9日	上尾市
20	2019年12月17日	宇部市
21	2019年12月26日	羽咋市
22	2020年1月14日	横浜市
23	2020年1月24日	三郷町
24	2020年1月31日	上三川町
25	2020年2月1日	菊陽町
26	2020年2月1日	伊勢原市
27	2020年2月14日	和歌山県
28	2020年3月2日	開成町
29	3月末までに締結予定	
30		
31		